

# 田島支援学校版(音楽)

小学部・中学部・高等部 学習段階表

令和4年 12月発行(第2版)

川崎市立田島支援学校

---

音楽(歌唱) 学習段階表

		小学部			中学部		高等部	
区分		1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
思考力・判断力・表現力等		(7) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすること。	(7) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつこと。	(7) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもつこと。	(7) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合わせた表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。	(7) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。	(7) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。	(7) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●すずのきよく(教科書 おんがく☆ P5)</li> <li>→音楽が流れたら音を鳴らす、終わったら止める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●はるのおがわ(教科書 おんがく☆☆ P8~9)</li> <li>→薄い布を振るなど身体表現をいれながら歌うことで、歌うことが難しい児童も自分なりの表現をできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●はるがきた(教科書 おんがく☆☆☆ P7)</li> <li>●にじ(教科書 おんがく☆☆☆ P17)</li> <li>●ゆかいなまきば(教科書 おんがく☆☆☆ P27)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まつみ(共通教材)</li> <li>●おぼろ月(共通教材)</li> <li>●もみじ(共通教材)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●こいのぼり(共通教材)</li> <li>●越天楽今様(共通教材)</li> <li>●ふるさと(共通教材)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(共通教材)</li> <li>●赤とんぼ ●夏の思い出 ●浜辺の歌</li> <li>●荒城の月 ●花</li> <li>●早春賦 ●花の街</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(共通教材)</li> <li>●赤とんぼ ●夏の思い出 ●浜辺の歌</li> <li>●荒城の月 ●花</li> <li>●早春賦 ●花の街</li> </ul>
	(4) 表現する音や音楽に気付くこと。	(1) 次の②及び③について気付くこと。	(1) 次の②及び③について気付くこと。	(1) 次の②及び③について気付くこと。	(1) 次の②及び③について理解すること。	(1) 次の②及び③について理解すること。	(1) 次の②及び③について理解すること。	(1) 次の②及び③について理解すること。
知識		<ul style="list-style-type: none"> <li>●いっしょにならそうよ(教科書 おんがく☆ P10~11)</li> <li>●キッチンオーケストラ</li> <li>→様々な楽器で遊び、楽器の感触を確かめたり、様々な手の動きで音を出したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイアイ(教科書 おんがく☆☆ P18)</li> <li>→「アイアイ」部分で教員と児童で呼びかけと受け答えをしながら歌う</li> <li>●山の音楽家</li> <li>→特徴的な繰り返し部分で楽器を鳴らし演奏する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さんぼ(教科書 おんがく☆☆☆ P13)</li> <li>●大きなたいこ</li> <li>→児童の歩きやすいテンポで伴奏を行い、リズムに合わせて歌いやすくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●きよしこの夜</li> <li>→最初に鑑賞などを通して曲の持つ曲想を十分に感じ取れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●越天楽今様</li> <li>→雅楽の特徴(5音階)や表現の特徴を感じ取り日本の音楽に関心を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浜辺の歌</li> <li>→楽譜に記された用語や記号を十分に表現できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あかどんぼ</li> <li>→楽譜に記された用語や記号を十分に表現できるようにする。「あかどんぼ」の発音が作曲当初の発音になるようアクセントがついていること等を理解する。</li> </ul>
		① 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉	① 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉	① 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わり	① 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わり	① 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わり	① 声の音色や響きと発声との関わり	① 声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わり
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●みなみ のしまの はめはめは だいおう(教科書 おんがく☆☆ P14~15)</li> <li>→歌詞の「ハハハハ」のあとに「ウッ」等の掛け声をいれることで一層たのしさがまし、リズムが取りやすくなる。</li> <li>●いぬのおまわりさん</li> <li>→動物の鳴き声の部分で特徴的な言葉を味わえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●線路はつづくよどこまでも(教科書 おんがく☆☆☆ P14)</li> <li>→曲に合わせて歌いながら走ったり、トンネルに見立てた物をくぐったり鉄橋を渡ったりする。最後は、次第に速度を落とし止まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●もみじ(共通教材)</li> <li>→絵や写真を利用して歌詞の内容を説明したり、歌詞の意味を分かりやすく説明し、歌われている情景や心情や歌詞と旋律の調和から生み出される趣を味わえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●待ちぼうけ</li> <li>→言葉の持つリズムや強弱に気をつけながら歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界の音楽</li> <li>→我が国の伝統音楽の力強い発声法やヨーデルなどの特殊な発声法、POPsの発声法など様々な発声法があることを身近な音楽から知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ソーラン節(中学校1年教科書参考)</li> <li>→模範演奏をよく聞いて、声の音色や節回しの特徴を知る旋律を区切りながら模範演奏をまねて歌ってみる。</li> </ul>	
	(9) 思いに合った表現をするために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。	(9) 思いに合った表現をするために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。	(9) 思いに合った歌い方や歌うために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。	(9) 思いや意図にふさわしい歌い方や歌うために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。	(9) 思いや意図にふさわしい歌い方や歌うために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。	(9) 創意工夫を生かした表現をするために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。	(9) 創意工夫を生かした表現をするために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。	
音楽遊び		② 音や音楽を感じて体を動かす技能	② 範唱を聴いて、曲の一部分を模唱する技能	② 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりする技能	② 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりする技能	② 歌詞やリズム、音の高さ等を意識して歌う技能	② 範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能	② 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●こいのぼり(教科書 おんがく☆ P15)</li> <li>●エビカニクス</li> <li>→動きの少ない児童は、教員の膝にのせ3拍子を感じられるように一緒に体を動かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●おしょうがつ(教科書 おんがく☆☆ P84)</li> <li>→教員が歌詞を朗読し、歌詞の具体的なイメージをもてるようにする実際にこままわしや羽根つき等も体験しイメージを持てるようにする。</li> <li>●やさしいぐーちーばー</li> <li>→実際にやさしいものを見るなどして、「おなかグー」や「あちのちー」で、歌詞の具体的なイメージをもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●線路はつづくよどこまでも(教科書 おんがく☆☆☆ P17)</li> <li>→四季それぞれの写真を提示し、イメージできるようにする。</li> <li>「花が咲いている」「鶯がいないなど」に気を付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマイルアゲイン</li> <li>→サビの部分で手話の表現を取り入れることで発声難しい生徒も自分の表現を深める手段とする。</li> <li>子どもの経験を歌詞の内容に結び付けながら歌詞の内容を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●believeE指導のポイントを参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●心の中にきらめいて(ハ長調)</li> <li>→楽譜に記されていることを意識しながら2部合唱を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●変わらないもの●旅立ちの日に</li> <li>→生徒が表現したいことを考え、そのためにはどのような技能が必要かを考えながら(音楽記号、歌い方等)を考えながら歌う。</li> </ul>
		④ 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能	④ 自分の歌声に注意を向けて歌う技能	④ 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて歌う技能	④ 発声の仕方に気を付けて歌う技能	④ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能	④ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方歌う技能	④ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら、他者と合わせて歌う技能
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●おおきなたいこ(教科書 おんがく☆ P78~79)</li> <li>●ミッキーマウスマーチ</li> <li>→導入では、自由に鳴らす場面を設定し、様々な音の出し方を体験する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いぬのおまわりさん(教科書 おんがく☆☆ P68)</li> <li>●ことりのうた</li> <li>→「わんわんわーん」や「びびびび ちちちち」など特徴的な歌詞を範唱に続いて歌えようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●虫のこえ(教科書 おんがく☆☆☆ P62)</li> <li>→虫の鳴き声ごとにグループに分かれ音の強弱や柔らかさに気をつけて表現を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発声練習(ピアチェルダモーレなど)</li> <li>→指導のポイント参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発声練習(ピアチェルダモーレなど)</li> <li>→指導のポイント参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夏の思い出</li> <li>→指導のポイント参照</li> <li>母音、子音がどのようなものかを事前に説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●変わらないもの●旅立ちの日に</li> <li>→録画等を見ながらバランスを考える場面を設定する。</li> </ul>	
技能		⑦ 音や音楽を感じて声を出す技能	⑦ 教師や友達と一緒に歌う技能	⑦ 教師や友達と一緒に声を合わせて歌う技能	⑦ 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能	⑦ 独唱と、斉唱及び簡単な輪唱などをする技能	⑦ 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●ぞうさん(教科書 おんがく☆ P47)</li> <li>→「ぞうさん、ぞうさん」など歌の一部を歌いながらぞうやなつたつもりで体を動かす</li> <li>●ぶん ぶん ぶん</li> <li>→「ぶん ぶん ぶん」など歌の一部をリズムよく歌う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●かれーらいす(教科書 おんがく☆☆ P38)</li> <li>●やまびこさん</li> <li>→教員の範唱のあとについて掛け合いの部分で歌う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ありがとう・さようなら(教科書 おんがく☆☆☆ P84)</li> <li>→曲の雰囲気を考えて、友だちや教員と一緒にうたう。</li> <li>歌うことが難しい場合は、トーンチャイムなどを使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界に一つだけの花</li> <li>→リズムや歌詞のは入りが難しい箇所はピアノで音程などを確認しながら繰り返し練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●静かな湖畔</li> <li>→「カッコー」の部分で輪唱を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●変わらないもの</li> <li>●旅立ちの日に</li> <li>→繰り返し返しのパート練習の中で他のパートや伴奏を意識できるようにする。</li> </ul>	

A 音楽表現

ア 歌唱

音楽(器楽) 学習段階表

		小学部			中学部		高等部	
区分		1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
思考力・判断力・表現力等		(7) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつこと。	(7) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつこと。	(7) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いにふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。	(7) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。	(7) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。	(7) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。	(7) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●てをたたましよう(教科書 おんがく☆☆ P22)</li> <li>→曲のリズムに慣れてきたら「JJJウン」のリズムパターンを好きな打楽器で演奏をする。</li> <li>●へい!タンプリン!</li> <li>→自分が経験したことがあるリズムや教員の見本を見ての演奏を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●茶色の小瓶(教科書 おんがく☆☆ P64)</li> <li>●ミッキーマウスマーチ(教科書 おんがく☆☆ P66)</li> <li>●村祭り(教科書 おんがく☆☆ P60)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミッキーマウスマーチ</li> <li>●ラデツキー行進曲</li> <li>●星に願いを</li> <li>→生徒が選曲をすることで意欲を高めたり、ビデオに録画して自分の演奏を振り返ったりする。</li> <li>●器楽合奏(きらきら星、ちようちよう)</li> <li>→友達の楽器の音や伴奏を聴いて、自分なりに合わせようとして音を出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パッヘルベルのカノン</li> <li>●小さな世界</li> <li>●ぶち合わせだこ</li> <li>●器楽合奏(きらきら星、ちようちよう)</li> <li>→曲想を知り、休符などを意識して演奏しようとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●風になりたい</li> <li>●テキーラ</li> <li>●琴演奏(さくらなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●風になりたい</li> <li>●テキーラ</li> <li>●琴演奏(さくらなど)</li> </ul>	
知識		(1) 次の㉞及び㉟について気付くこと。	(1) 次の㉞及び㉟について気付くこと。	(1) 次の㉞及び㉟について気付くこと。	(1) 次の㉞及び㉟について理解すること。	(1) 次の㉞及び㉟について理解すること。	(1) 次の㉞及び㉟について理解すること。	(1) 次の㉞及び㉟について理解すること。
		㉞ 拍や曲の特徴的なリズム	㉞ リズム、速度や強弱の違い	㉞ 曲の雰囲気と音楽の構造との関わり	㉞ 曲想と音楽の構造との関わり	㉞ 曲想と音楽の構造との関わり	㉞ 曲想と音楽の構造との関わり	㉞ 曲想と音楽の構造との関わり
A 表現		<ul style="list-style-type: none"> <li>●おもちゃのチャチャチャ(教科書 おんがく☆☆ P53)</li> <li>→「おもちゃの」の歌詞の呼びかけに「JJJウン」のリズムパターンを演奏する</li> <li>●かもつれっしや</li> <li>→「シュッシュュッシュ」のリズムパターンを演奏する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミッキーマウスマーチ(教科書 おんがく☆☆ P66)</li> <li>●さんぼ</li> <li>→絵カードや語呂合わせにリズム譜などをもとにリズムや速度の違いがわかるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズム合奏(ミッキーマウスマーチなど)</li> <li>→絵カードでリズムを語呂合わせにし、分かりやすくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズム合奏(ラデツキー行進曲)</li> <li>→繰り返しの部分で強弱が変わることなどを意識して演奏できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●風に乗って…ヒダノ修一作曲(中学校教科書 参考 器楽より)</li> <li>→曲想の違いを感じながらアンサンブル(地打ちと表打ち)を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●風に乗って…ヒダノ修一作曲(中学校教科書 参考 器楽より)</li> <li>→曲想の違いを感じながらアンサンブル(地打ちと表打ち)を行う。</li> </ul>	
		㉟ 楽器の音色の違い	㉟ 演奏の仕方による楽器の音色の違い	㉟ 楽器の音色と全体の響きとの関わり	㉟ 多様な楽器の音色と全体の響きとの関わり	㉟ 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わり	㉟ 多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり	㉟ 多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり
技能		<ul style="list-style-type: none"> <li>●いろいろな打楽器(教科書 おんがく☆☆ P20)</li> <li>→導入としてコンガ・ボンゴを手で叩いたりバチで叩いたりする</li> <li>●キッチンオーケストラ</li> <li>→様々な楽器を用意して楽器の音色の違いに気付くようにする</li> <li>●ホールニューワールド</li> <li>→イラストを用いたり、同じ楽器で高さの違う音の楽器を用意したりする。低いイラストを提示して、低い声で話したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オーラリー(教科書 おんがく☆☆ P40)</li> <li>→ハンドベル、鉄琴、トーンチャイムなどを使用し、楽器の鳴らし方(強弱)で音色が違うことを気付けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンドベル演奏(きよこの夜)</li> <li>→和音ごとにグループを作り、合図に合わせて演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パッヘルベルのカノン(器楽合奏)</li> <li>→自分の音や友だちの音を聴きながら演奏し、音の重なりや響きを感じ取れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さくらさくら(日本民謡)</li> <li>→琴の様々な奏法(ピッチカート、すくい爪、トレモロ)などで音色が変わることを知り、演奏をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さくらさくら(日本民謡)</li> <li>→琴の様々な奏法(ピッチカート、すくい爪、トレモロ)などで音色や響きが変わることを理解する。自分の表現したい奏法で演奏をする。</li> </ul>	
		(9) 思いに合った表現をするために必要な次の㉞から㉟までの技能を身に付けること。	(9) 思いに合った表現をするために必要な次の㉞から㉟までの技能を身に付けること。	(9) 思いや意図にふさわしい表現をするために必要な次の㉞から㉟までの技能を身に付けること。	(9) 思いや意図にふさわしい表現をするために必要な次の㉞から㉟までの技能を身に付けること。	(9) 創意工夫を生かした表現をするために必要な次の㉞から㉟までの技能を身に付けること。	(9) 創意工夫を生かした表現をするために必要な次の㉞から㉟までの技能を身に付けること。	
	㉞ 範奏を聴き、模倣をして演奏する技能	㉞ 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする技能	㉞ 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能	㉞ 簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色などを意識して、演奏する技能	㉞ 範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する技能	㉞ 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●おせんべやけたかな(教科書 おんがく☆☆ P64~65)</li> <li>→教員の範奏の後に有音程打楽器(卓上ベル・木琴)などを使って、2音の違いを意識して歌に合わせて演奏をする</li> <li>●へい!タンプリン!</li> <li>→振り付け譜や教員の見本を見ながら演奏を行う。歌詞の「タンプリン」の部分でリズムに合わせて3回たたき、そのほかの部分は振り付けをつけて演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●きらきらぼし(教科書 おんがく☆☆ P24)</li> <li>●かもつれっしや</li> <li>→色を用いた簡単な楽譜などを使用し、四分音符を一定の速度で演奏できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●器楽合奏(ワッパッパ)</li> <li>→演奏する3拍子のリズムをイラストなどで示し、理解しやすくする。</li> <li>●器楽合奏(きらきら星、ちようちよう)</li> <li>→色付きの楽譜を使用して速度やリズムを意識して演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器楽合奏(小さな世界)</li> <li>→リズム合奏、旋律楽器などを組み合わせた合奏を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●聖者の行進(ハ長調)</li> <li>→楽譜の読み方を事前に段階的(色など用いながら)に指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●虹の彼方に(ハ長調)</li> <li>→鉄琴やトーンチャイム、打楽器の奏法を意識できるようにする。ビデオなどで自分たちの演奏を鑑賞し、振り返りする。</li> </ul>		
	㉟ 身近な打楽器を演奏する技能	㉟ 身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能	㉟ 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能	㉟ 打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して、音色や響きに気を付けて演奏する技能	㉟ 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能	㉟ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて演奏する技能		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いろいろな打楽器(教科書 おんがく☆☆ P20)</li> <li>●どらえもん音頭</li> <li>→良い音が鳴るようにバチを扱う腕の振り下ろし方などを指導する</li> <li>●へい!タンプリン!</li> <li>㉞と同じ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あでまでさんば(教科書 おんがく☆☆ P18)</li> <li>→いろいろな楽器を単独で鳴らしたり、みんなで一緒に演奏したりして、いろいろな音色の面白さに気付くようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器楽合奏(星に願いを)</li> <li>→鉄琴やトーンチャイムの奏法に気を付けながら演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和太鼓演奏(ぶち合わせ太鼓)</li> <li>→バチの持ち方や面の打ち方で音色が変わることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テキーラ(中学校 器楽参考)</li> <li>→演奏をする際に打楽器の特徴を知り、その楽器にふさわしい音色や奏法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テキーラ(中学校 器楽参考)</li> <li>→生徒が思いや意図をもち、全体の響きと各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する。</li> </ul>		
	㉟ 教師や友達と一緒に演奏する技能	㉟ 教師や友達の楽器の音を聴いて演奏する技能	㉟ 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能	㉟ 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏する技能	㉟ 各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●もちつき(教科書 おんがく☆☆ P86)</li> <li>→餅をつくと合い取りする人をイメージしながら、教科書の絵譜をみて太鼓を演奏するようにする。</li> <li>●へい!タンプリン!</li> <li>㉞と同じ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いふうどうどう(教科書 おんがく☆☆ P24)</li> <li>→様々な打楽器や旋律楽器を使用して合奏を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器楽合奏(威風堂々)</li> <li>→友だちが演奏する主旋律に合わせて打楽器などを演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●和太鼓演奏(ぶち合わせ太鼓)</li> <li>→生徒が演奏する地打ちに合わせて演奏をする。</li> <li>●器楽合奏(きらきら星、ちようちよう)</li> <li>→簡単符を使用して伴奏や他者の演奏を聴きながら速度やリズムを意識して演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器楽合奏(剣の舞など)</li> <li>→各声部の役割を理解し、強弱などを工夫して表現する。</li> </ul>			

音楽(音楽づくり) 学習段階表

		小学部			中学部			高等部	
区分		1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階	
思考力・判断力・表現力等		(7) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の⑦及び⑧をできるようにすること。	(7) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の⑦及び⑧をできるようにすること。	(7) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の⑦及び⑧をできるようにすること。	(7) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の⑦及び⑧をできるようにすること。	(7) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の⑦及び⑧をできるようにすること。	(7) 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。	(7) 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。	
		⑦ 音遊びを通して、音の面白さに気付くこと。	⑦ 音遊びを通して、音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たりすること。	⑦ 音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ること。	⑦ 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること。				
	学習内容	●みんなで ならずがっき のうた(教科書 おんがく☆☆ P24~25) →教員の演奏する旋律に合わせて順番に自由に楽器を鳴らす。	●虫のがっそうたい(教科書 おんがく☆☆ P63) ●雨の音楽をつくろう(教科書 おんがく☆☆ P20)	●虫のがっそうたい(教科書 おんがく☆☆ P63) →フレーズ(♪♪)(♪♪♪)などを絵カードにする。カードを並べて考えたり演奏をしたりしながら1曲にしていく	●まねっこリレー →先生の手拍子の模倣からはじめ、慣れてきたら生徒の演奏したリズムを模倣する。	●お話を音楽を作ろう →自分達の生活を音で表現する。(歩く音、雨の音、雷の音、チャイムの音など)様々な楽器や物を鳴らしてイメージを考えてる。	●ラバースコンチェルト →歌唱や合唱を行った後に指定したリズムを使って繋げながら伴奏を作る。	●校歌の伴奏を作ろう →歌唱や合唱を行った後に指定したリズムを使って繋げながら伴奏を作る。どのような響きや音色が必要か考える場を作る。	
	① 音や音楽で表現することについて思いをもつこと。	① どのように音を音楽にしていかにについて思いをもつこと。	① 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつこと。	① 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつこと。					
	① 次の⑦及び⑧について、それらが生み出す面白さなどに触れて気付くこと。	① 次の⑦及び⑧について、それらが生み出す面白さなどと関わって気付くこと。	① 次の⑦及び⑧について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて理解すること。	① 次の⑦及び⑧について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて理解すること。			① 次の⑦及び⑧について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて理解すること。	① 次の⑦及び⑧について、表したいイメージと関わらせて理解すること。	
	⑦ 声や身の回りの様々な音の特徴	⑦ 声や身の回りの様々な音の特徴	⑦ いろいろな音の響きの特徴	⑦ いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴			⑦ いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴	⑦ 音のつながり方の特徴	
	●いろいろなおと(教科書 おんがく☆☆ P58~59) →空き瓶を叩いたり、ビニールをこする、プラスチック容器ビーズ入れるなど 身近な物をながら身の回りの音の特徴(風の音、ヘリコプターの音)などに気付けるようにする。聴覚過敏の児童がいる場合は音量に注意する。	●雨の音楽をつくろう(教科書 おんがく☆☆ P20) →「ぼつぼつ」「ざーざー」「しとしと」など雨の音を楽器で表現したり「ド・ミン」の3つの音で自由に旋律を作ったりする。	●音の探検隊 →様々な楽器を準備し、多様な演奏方法をためし、響きの特徴を捉える。	●自分の音をつなげて音楽を作ろう →導入でたくさん楽器を鳴らす中で自分の好きな響きを見つけられるように留意する。	●打楽器アンサンブル①(小学校5年生 教科書参考) →楽器によって響きの長さ、高さ・音色の違いにあることを鳴らしながら確かめる。	●打楽器アンサンブル③(小学校5年生 教科書参考) →様々な楽器でリズムパターンを組み合わせながら演奏し、リズムによって雰囲気の変化があることを考える。録画等をしながら振り返りができるようにする。			
	① 音のつながり方の特徴	① 簡単なリズム・パターンの特徴	① リズム・パターンや短い旋律のつながり方の特徴	① リズム・パターンや短い旋律のつながり方の特徴			① 音やフレーズのつながり方や重ね方の特徴	① 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴	
	●リズムをくみあわせよう(教科書 おんがく☆☆ P85) 例→お正月の曲に合わせて2つのパターンA「♪♪ウン」B「♪♪♪ウン」を組み合わせる。リズム譜で視覚的支援をする。	●楽器でお話しよう(教科書 おんがく☆☆ P82) 食べ物や名前などを参考に教員がいった言葉に見合ったリズムを手拍子等で示す。	●楽器であいさつ →あいさつや好きな言葉を語呂合わせのリズムにしながら演奏し、繋げて演奏する。	●果物リズム →果物の名前のごろ合わせのリズムカードを選び、順番に鳴らしたリズムパターンを作って即興的に鳴らしたする。	●打楽器アンサンブル②(小学校5年生 教科書参考) →様々な楽器でリズムパターンを組み合わせながら演奏する。録画等をしながら振り返りができるようにする。	●水の音楽を作ろう →水に関わる楽曲を鑑賞(モルグウ・水族館(動物の謝肉祭))し、水の音楽を作る。レインスティック、シンバル(雷の音)、ハーモニックパイプ(風の音)を選び、イメージにふさわしい重ね方、音型、順序を考える。			
	(7) 気付きを生かした表現や思いに合った表現をするために必要な次の⑦及び⑧の技能を身に付けること。	(7) 気付きや発想を生かした表現や、思いに合った表現をするために必要な次の⑦及び⑧の技能を身に付けること。	(7) 発想を生かした表現、思いや意図に合った表現をするために必要な次の⑦及び⑧の技能を身に付けること。	(7) 発想を生かした表現、思いや意図に合った表現をするために必要な次の⑦及び⑧の技能を身に付けること。			(7) 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。	(7) 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。	
	⑦ 音を選んだりつなげたりして、表現する技能	⑦ 音を選んだりつなげたりして表現する技能	⑦ 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能	⑦ 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能					
	●みんなで ならずがっき のうた(教科書 おんがく☆☆ P24~25) →教員の演奏する旋律に合わせて順番に自由に楽器を鳴らしたり 自由な発想のリズム(語呂合わせなど)を鳴らしたりする。	●たたたん びよん(教科書 おんがく☆☆ P54) 「たたたんびよん」の歌詞の部分と並んで順番に演奏する。	●好きな野菜 →指定された野菜の語呂合わせのリズムを選択し、繋げて演奏する。	●五音階を用いた即興演奏 →「ヨナ抜き音階」「琉球音階」を用いながらトーンチャイムを順番に鳴らしたり組み合わせたりして演奏する。日本の伝統的な音階であることも合わせて生徒に伝える。	●テキーラ(中学校 器楽参考) →テキーラのリズムパターンを考組み合わせて伴奏を作る。	●音楽でお話をつくろう →リズム、音色、構成など組み合わせながらお話を話し合いながら作る。「課題や条件」のイメージがもちにくい生徒には具体的な音の選択肢を提示したり、教師と一緒に音を出しながら説明したりする。			
	① 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能	① 教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能	① 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくる技能	① 音楽の仕組みを生かして、音楽をつくる技能					
	●みんなで ならずがっき のうた(教科書 おんがく☆☆ P24~25) →小集団でリズム・パターンを選択したり新しいリズムパターンを考えたりしながら演奏する。	●楽器でお話しよう(教科書 おんがく☆☆ P82) 楽器でリズムをとりながら、考えた言葉を使ってやりとり遊びをする。	●楽器であいさつ →6行のよびかけの言葉の中をリズムにして、楽器でお話をする。	●果物リズム →果物の名前のごろ合わせのリズムカードを選び、順番に鳴らしたリズムパターンを作って即興的に鳴らしたことを指導のポイントに従いながら発展させる。					

知識

A 表現

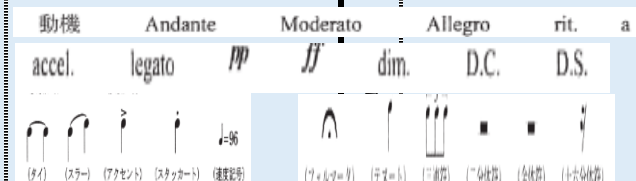
技能

ウ 音楽づくり

ウ 創作



音楽(身体表現) 学習段階表

		小学部			中学部		高等部	
区分		1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
思考力・判断力・表現力等  知識  A 表現  技能	工 身体表現	(7) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつこと。 ●おまほ みんな(教科書 おんがく☆☆ P41~42) →教員が付点や三連符のリズムを手拍子などで示したりその場でスキップをしたりしてリズムを体感できるようにする。また歌詞にも着目できるようにする。	(7) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつこと。 ●どんぼ(教科書 おんがく☆☆☆ P50) ●あらうま(教科書 おんがく☆☆☆ P51) ●だいくのきつつきさん(教科書 おんがく☆☆☆ P31)	(7) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。 様々な曲や動きを用いたムーブメント活動 速い曲(マーチ・熊蜂の飛行など、ハンガリー舞曲5番) ゆっくりな曲(家路、G線上のアリア)など リズムの特徴(ミッキーマウスマーチ(付点リズム))	(7) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。 様々な曲や動きを用いたムーブメント活動 速い曲(マーチ・熊蜂の飛行など、ハンガリー舞曲5番) ゆっくりな曲(家路、G線上のアリア)など 歌詞や曲名の関わり(動物の謝肉祭、うみ(童謡))など	(7) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫すること。 曲の例 ボディーパーカッション	(7) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫すること。 曲の例 ボディーパーカッション	
		(1) 次の⑦及び⑧について気付くこと。 ⑦ 拍や曲の特徴的なリズム 学習内容 ●どれみのうた(教科書 おんがく☆☆ P60~61) →身体表現を交えながら音の高低を意識した動きで表現する。	(1) 次の⑦及び⑧の関わりについて気付くこと。 ⑦ 曲のリズム、速度、旋律 学習内容 ●どんぼ(教科書 おんがく☆☆☆ P50) →とんぼになったつもりで走ったり手を上げたりする。最後は余韻を持って止まる	(1) 次の⑦及び⑧の関わりについて気付くこと。 ⑦ 曲の雰囲気や音楽の構造との関わり 学習内容 様々な曲や動きを用いたムーブメント活動 →わかりやすい雰囲気や強弱、速さ、速度などの曲に合わせて身体を動かす。	(1) 次の⑦及び⑧の関わりについて理解すること。 ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり 学習内容 様々な曲や動きを用いたムーブメント活動 →速い曲(行進曲)やゆっくりな曲(ドボルザークの家路)、弾む曲(ビッチカートポルカ)など様々な曲想の曲の構造を身体を動かして表現する。	(1) 次の⑦及び⑧の関わりについて理解すること。 ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり 共通事項の理解と曲の関わり 動機 Andante Moderato Allegro rit. a tempo accel. legato <i>mp</i> <i>ff</i> dim. D.C. D.S. 	(1) 次の⑦及び⑧の関わりについて理解すること。 ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり 学習内容 共通事項の理解と曲の関わり 曲想に合わせた身体の動き →オーシャンゼリゼなどリズムなどの関わり関係付けながらスキップをしてみる。	
		① 曲名と動きとの関わり ●どうぶつになって(教科書 おんがく☆☆ P38~39) →カンガルー(付点リズムで軽やかに)わに(重々しく)など特徴的なリズムや速さで動きを変える。 ●できるかな?—あたまからつまさきまで— →様々な動物をイメージして体を動かす	① 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部 ●だいくのきつつきさん(教科書 おんがく☆☆☆ P31) →歌詞に合わせてリズムを身体を使って表現する。 参加の難しい児童には楽器やペープサートを使うなど配慮をする	① 曲名や歌詞と体の動きとの関わり さんば、動物の謝肉祭など →歌詞や曲名に応じた動きを説明しながら、表現をする。 曲名や歌詞との関わりを意識した動きができるようにする。	① 曲名や歌詞と体の動きとの関わり 様々な曲や動きを用いたムーブメント活動 →「スケーターズワルツ」「白鳥」など曲名に合わせた動きを表現したり「うさぎ(日本古謡)」などの歌詞に応じた動きを考えながら表現する。	① 曲想と体の動きとの関わり 曲想に合わせた身体の動き →オーシャンゼリゼなどリズムなどの関わり関係付けながらスキップをしてみる。	① 曲想や音楽の構造と体の動きとの関わり 曲想に合わせた身体の動き →木星は「壮大な曲」熊蜂の飛行は「速く細かい曲」など曲想に合わせて身体を動かす。	
(7) 思いに合った動きで表現するために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技能 学習内容 ●エビカニクス(教科書 おんがく☆☆ P43) ●あたまかた ひざ ぼん ●ひげいさん →教員の手本を見たり歌ったりしながら動きを覚える	(7) 思いに合った体の動きで表現するために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして、身体表現をする技能 学習内容 ●おしくらまんじゅう(教科書 おんがく☆☆☆ P76) →伴奏の強弱や速度などの違いにあわせて身体を動かす。 ●キャベツはキャ →示範を見て、リズムに合わせて体を動かす	(7) 思いや意図にふさわしい動きで表現するために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりする技能 学習内容 ●アブラハムの子 →速度を変えたりしながら動きの速さもテンポに応じて変える。	(7) 思いや意図にふさわしい動きで表現するために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 示範を見て表現したり、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現したりする技能 学習内容 ●頭、肩、膝、ボン →速度を変えたりしながら動きの速さもテンポに応じて変える。テンポや動きをランダムに変化をさせる。	(7) 創意工夫を生かした表現するために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能 学習内容 ボディーパーカッション →右手で旋律の動き、左手で左足に触れる動きでリズムを表現するなど、創意工夫を生かした表現をする。	(7) 創意工夫を生かした表現するために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能 学習内容 ボディーパーカッション →1段階で行った物を発展させて自分たちで速度、リズム等を工夫する。			
① 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かす技能 学習内容 ●ジェットコースター(教科書 おんがく☆☆ P79) ●しあわせならてをたたこう ●チェッチェッリ →曲に慣れてきたら強弱や速さに変化をつけ躍動感をつけて身体表現をする。	① 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現する技能 ●おちやらかはい(教科書 おんがく☆☆☆ P75) →伴奏の強弱や速度などの違いにあわせて身体を動かす。	① 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる技能 ムーブメント活動(行進曲とゆっくりな曲の組み合わせ) →さまざまな雰囲気の音楽をランダムにかけ、音楽に応じて判断をしながら身体を動かす。	① 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる技能 身体表現の活動の指導に当たっては、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについて思いや意図をもつこと、【共通事項】との関連を十分に回り、友達と一緒に楽しく身体表現の活動を進めることが大切である。	① 設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせる技能 学習内容 ボディーパーカッション →指導のポイントを参照	① 設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせる技能 学習内容 ボディーパーカッション →曲に合わせて、叩く箇所、リズムを友だちと組み合わせる。			
⑦ 教師や友達と一緒に体を動かす技能 学習内容 ●せんたく(教科書 おんがく☆☆ P16) →手洗いや洗濯機の映像を見てイメージを持てるようにする。 ●なべなべそこぬけ ●おちやらかはい →2人組になって体を動かす	⑦ 教師や友達と一緒に体を使って表現する技能 学習内容 ●テルテルボイス(教科書 おんがく☆☆☆ P28) →「わくわく」「びかびか」などの歌詞に出てくる言葉の動きをみんで考え身体を動かす。 ●おちやらかはい ●アルプス一万尺 →2人組になって体を動かす	⑦ 友達と動きを合わせて表現する技能 学習内容 ●アブラハムの子 →生徒が見本となっていく。 指導のポイントを参照	⑦ 友達と動きを相談して、合わせて表現する技能 学習内容 ●頭、肩、膝、ボン →速度を変えたりしながら動きの速さもテンポに応じて変える。テンポや動きをランダムに変化をさせる。 (7) ⑦を生かしながら、速度や叩くリズムなどを友だちや教員と相談しながら行う。	⑦ 友達と動きを組み合わせる技能 学習内容 ボディーパーカッション →曲に合わせて指定された、叩く箇所、リズムを友だちと組み合わせる。	⑦ 友達と動きを組み合わせたり、即興的に表現したりする技能 学習内容 ボディーパーカッション② →曲に合わせて、叩く箇所、リズムを友だちと考え、即興的に組み合わせる。			

音楽(鑑賞) 学習段階表

		小学部			中学部		高等部	
区分		1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
思考力・判断力・表現力等	A 音楽遊び	(7)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとする。	(7)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きて表したりしながら聴くこと。	(7)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くこと。	(7)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くこと。	(7)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。	(7)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。	(7)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くこと。
		●おもちゃのへいたい(教科書 おんがく☆ P58~59) →鑑賞の後に曲に合わせて行進を行い、感じたことを表現する。 テンポに合わせることを目的としないよう留意する	●おおきなふるとけい(教科書 おんがく☆ P30) →教員が様々な楽器(ウッドブロックなど)を用いながら演奏する。 「チクタク」の歌詞の部分で自由身体を動かしながら鑑賞する。	●子犬のワルツ(教科書 おんがく☆☆ P44) ●ゴリウオーグのゲークウォーク(教科書 おんがく☆☆☆ P45)	●ラデツキー行進曲(行進曲) ●エーデルワイス(ミュージカ曲) ●カルメン前奏曲(オーケストラ曲) 指導のポイントを参照	●映画音楽 ●魔王 ●春(ヴィヴァルディ) ●越天楽 ●パッサカリアハ短調 ●スコットランド音楽 ●生徒の身近な曲	●映画音楽 ●組曲惑星 ●展覧会の絵 ●勳進帳 ●民族部局 ●ベートーヴェン交響曲5番 ●生徒の身近な曲	
		学習内容	学習内容	学習内容	学習内容	学習内容		
知識	B 鑑賞	(1)聴こえてくる音や音楽に気付くこと。	(1)身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けれること。	(1)曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くこと。	(1)曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かること。	(1)曲想と音楽の構造等との関わりについて理解すること。	(1)曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。	(1) 次の⑦及び⑧について理解すること。 ⑦ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わり
		●おもちゃのへいたい(教科書 おんがく☆ P68~69) →実際にピアノで生演奏などをする。	●あかたすんどんち ～し～や～ぶ～(教科書 おんがく☆☆ P80~81) →お囃子の部分で歌詞に合わせて手遊びをしながら鑑賞する。 実際の三線があれば触れる機会を設ける。	●シンコペイテッドオクログ(教科書 おんがく☆☆☆ P46) →ウッドブロックの部分を手拍子や楽器で真似をして時計の表現を楽しむ。	●ラデツキー行進曲(行進曲) ●エーデルワイス(ミュージカ曲) ●カルメン前奏曲(オーケストラ曲) 指導のポイントを参照	●祝典序曲 楽器ごとのリズムや旋律のまとまりを意識しながら曲の構造を考える。	●映画ジョーズのテーマ●映画ターミネーター2のテーマ(中学校1年教科書参考) →強弱、速度、リズム、音の高低、音色を意識しながら鑑賞する。	●展覧会の絵(好きな曲をプレゼンテーションしよう)中学校2,3下参考 →強弱、速度、リズム、音の高低、音色、ハーモニー、構成を意識しながら鑑賞する。 展覧会の絵の中から好きな曲を選んで発表活動を行う。
		学習内容	学習内容	学習内容	学習内容	学習内容	学習内容	
								⑧ 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わり ●「音楽のまちかわさき」を知ろう →川崎市の音楽について鑑賞する。川崎市の音楽についての歴史の理解を深める。 例として坂本九の音楽や市歌、周年で作られた曲、各地区の囃子などがある。

知識		ア 音楽を形づくっている要素を聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと感じとったこととの関わりについて考えること。					ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。	
思・判・表等	共通事項	イ 絵描や色を用いた音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて、その意味に触れること。			イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。		イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。	